

兵庫県保険医協会

# 但馬支部ニュース

No. 186

2026年5月25日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部  
連絡先 〒669-5252 朝来市和田山町竹田 2486-76  
はるかぜ診療所 TEL/079-666-8016

2026年度診療報酬改定研究会（医科・歯科）を開催

## 大幅な診療報酬の引き上げを



医科会場では藤井先生（写真右・左）、守山先生（同・右）が講師を務め、71人が参加した

但馬支部は、4月11日、26日に日高地区コミュニティセンターで診療報酬改定研究会（医科入院外・歯科）をそれぞれ開催。医科は藤井高雄副支部長（豊岡市）、守山洋司支部幹事（同）を講師に71人が参加。歯科は山田真義支部幹事（美方郡）、水野良司理事（丹波市）を講師に20人が参加した。

医科会場では谷垣正人支部幹事が、歯科会場では喜井恭子支部幹事（美方郡）が参加者に「署名（2面参照）」への協力を訴え、計147筆が集まった。両会場とも、マイナス改定に抗議し、診療報酬を引き上げ、医療従事者の待遇改善を求める決議を拍手で採択した。

## 第107回評議員会 但馬支部からの発言

### 朝来市・はるかぜ診療所 黒瀬 博計

5月17日に開催された第107回評議員会において、黒瀬博計支部長・予備評議員が但馬支部を代表して発言した。要旨は以下の通り。

但馬支部は3月7日、豊岡市内で第39回支部総会を開催した。総会議事では2026年度活動方針を採択したほか、新支部長に朝来市・はるかぜ診療所の私黒瀬を、新幹事に新温泉町・ぽかぽか在宅ケアクリニックの濱上知宏先生と豊岡市・もりやま診療所の守山洋司先生を選出した。

記念企画「但馬地域の在宅医療の未来を語る」では、濱上先生、豊岡市・あかつきホームケアクリニックの和田陽介先生、香美町・蔵野歯科医院の蔵野彰王先生がそれぞれ話題提供され、会員・コメディカルら50人（来場20人/Zoom30人）が参加・交流した。



## ストップ！患者負担増請願署名にご協力ください



自民・維新両党の協議を受けて、政府は77成分・約1100品目の薬について、1～3割の窓口負担とは別に、「特別料金（薬剤費の25%）」として患者に追加負担を導入しようとしています。対象となる薬剤は、痛み止めや花粉症治療薬、皮膚疾患の保湿剤など日常的に幅広い疾患で使われている薬です。これらの薬は「特別料金」を含めると実質的な窓口負担が1割は3割に、2割は4割に、3割は5割に増加します。

多くの患者さんや医療機関から、この制度に対する不安や懸念の声が広がっています。新たな負担が課されることで、受診控えや治療中断につながりかねません。必要な医療にアクセスできる環境を守るために、署名にご協力下さい。

署名用紙の注文などは TEL078-393-1807 まで



## 幹事会だより

第261回 4月23日（木）参加7人

### ◆但馬支部の会員数と組織率

4/23 現在 医科99人（89.0%）、歯科37人（49.3%）

### ◆企画議論

テーマ 『返戻・減点・請求モレを防ぐ レセ業務効率化のための研修会  
～2026年改定を振り返って～（仮）』（医科対象）

日時 未定

講師 （株）エーアイエス取締役常務執行委員 川北 康貴 氏（仮）  
⇒継続議論となった

### ◆次回幹事会

5月28日（木）19時～「日高地区コミュニティセンター」にて開催予定

お問い合わせはTEL 078-393-1809 吉永まで

## 健康情報テレホンサービス

携帯電話 **(078) 393-1824** 固定電話 **(0120) 979-451**



★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

2次元コードはこちら



### 【5月のテーマ】

月曜日 緑内障

火曜日 薬の飲み方

水曜日 一過性低血圧

木曜日 バセドウ病

金土日 職場関連の「うつ」

### 【6月のテーマ】

月曜日 性感染症

火曜日 薬の負担増

水曜日 老人性色素班

木曜日 慢性老人病と透析

金土日 水いぼ

\*休祝日は前日のテーマを放送します。

★患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ（A6サイズ）を作成しています。  
送付ご希望の医療機関は事務局☎078-393-1840まで。

## 兵庫県保険医協会第58回総会のご案内

平素は兵庫県保険医協会の諸事業にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、弊会はこの1年間、開業保険医の経営と生活・権利を守り、国民医療の充実をめざし活動してまいりました。今後とも医療・社会保障の充実と発展に一層尽力する所存です。総会議事・記念講演会にご参加いただきますよう、お願いいたします。

日 時 **6月21日(日)** 会 場 **兵庫県保険医協会会議室**  
・13時30分～ 総会議事 ・15時20分～ 総会記念講演

### 細胞から老化を科学する

－ 加齢性疾患の新しい見方と治療への期待 －



大阪大学 微生物病研究所 分子生物学分野 教授

原 英二 (はら えいじ) 先生

なぜ人は年をとるにつれて病気になりやすくなるのでしょうか。近年の分子細胞生物学の研究から、その一つの答えとして「細胞老化」という現象が注目されています。

細胞老化とは、傷ついたり過剰なストレスにさらされたりした結果、細胞分裂を永久に停止した状態のことです。こうした細胞（老化細胞）は加齢とともに体内に蓄積し、炎症性物質を分泌することで周囲の組織を傷め、がんを含めた様々な加齢性疾患の発症を促進することが分かってきました。このため、現在、老化細胞を選択的に除去する薬剤（セノリティック薬）の開発が世界中で進んでいます。

しかし一方で、老化細胞の中には組織の恒常性維持に重要な働きをするものも存在し、一律の除去は必ずしも有益でない可能性も示唆されるようになってきています。本講演では、細胞老化の仕組みと体内での役割について紹介するとともに、セノリティック治療の現状と課題についてもお話します。

【原 英二 記】

【ご略歴・プロフィール】1993年 東京理科大学大学院博士課程修了(理学博士)、1993年(米) University of California, Berkeley ポスドク、1995年(英) Imperial Cancer Research Fund Laboratories ポスドク、1997年 京都府立医科大学 医学部 公衆衛生学教室講師、1998年(英) Cancer Research UK, Paterson Institute グループリーダー、2003年 徳島大学 ゲノム機能研究センター蛋白質情報分野教授、2008年 公益財団法人がん研究会 がん研究所 がん生物物部部長、2015年 大阪大学 微生物病研究所 分子生物学分野 教授、同 免疫学フロンティア研究センター老化生物学教授(兼任) 所属学会：日本癌学会(2012年～評議員)、日本分子生物学会(2019年～理事)、International Cell Senescence Association(2021年：年会長)、専門分野：分子生物学、分子腫瘍学、受賞歴：2014年 日本癌学会 JCA-Mauverny Award、2021年 高松宮妃癌研究基金 学術賞、2025年 文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)

ご参加の場合 FAX 078-393-1802 までご返信ください

議事から出席します  
(医療機関名)

記念講演に参加します ( ) 人  
(お名前 )

※すでにお返事を頂戴している場合は、失礼の段何卒ご容赦ください

お問い合わせは TEL 078-393-1817 組織担当 楠(クスノキ) まで